

弊社は全国の契約販売店様へ機材を卸す企業の為、販売店様が実際に販売したお客様情報（販売情報及び個人情報）は持ち合わせておりません。“事件事故の証拠物件としても利用されるセキュリティ機器の為、販売店様が持ち合わせる販売情報と整合の取れない相手側に対して、安易な対応は避けるように”と関係機関より指導を受けております。その為、お客様から直接弊社宛に不具合や機器取り扱い等に関するお問合せを頂きますと、**お答えする事は差し控えて**おります。ご理解ご了承下さい。全てのお問合せはお買い求め頂きました販売店までお願いいたします。

■ この**簡易マニュアル**は弊社の販売する防犯カメラ用録画装置（デジタルビデオレコーダー）の IRV シリーズの**一部の機能の操作を簡易的に説明**した冊子です。  
より詳しい内容や詳細は製品付属の CD-ROM 内に収録されている各機種毎の製品取扱説明書をご覧頂くか、または最新情報は国内輸入卸元事業者「有限会社インターラック」のホームページをご参照下さい。

## 目次

- ① 本体操作: **p1** 再生 **p3** 再生中の操作 **p4** バックアップ **p6** アップデート **p8** 時計合わせ
- ② Webブラウザ: **p10** ブラウザの実行 **p11** レコーダーへの接続 **p11** ログイン **p12** 再生  
**p13** バックアップ **p15** バックアップファイルの再生
- ③ SmartEyes Pro: **p16** アプリの入手 **p17** デバイス登録 **p18** ライブ **p19** 再生 **p19** 再生操作
- ④ NETUS-Pro: **p20** インストール **p20** 起動と終了 **p21** デバイス登録 **p22** ライブの開始と終了  
**p24** 再生 **p26** バックアップ **p28** バックアップファイルの再生

録画装置（レコーダー）を操作するには**パスワードまたはユーザー ID とパスワードが必要です**。  
この簡易マニュアル内にはユーザー ID 及びパスワードは一切表記しておりません。  
録画装置（レコーダー）を管理する方（管理者）にお問い合わせ下さい。  
また管理者の権限により、録画装置（レコーダー）を直接操作する場合に限り**パスワード入力を省略**している場合もございます。詳しくは管理者へお問合せ下さい。

## 1 本体操作

### 手順1 再生

本機内部のハードディスクに保存された映像を再生します。

録画映像を再生するには、まず**いつ（?月?日?時?分）から再生するか**を決める（検索する）必要があります。本機では様々な再生（検索）手段を利用する事が出来ます。

録画映像はカメラの台数、録画条件、被写体条件、ハードディスク（HDD）容量によって録画保存期間が大きく異なります。初期出荷段階では**上書き録画がON**になっており、古い映像から削除され新しいデータが保存されます。

録画映像を再生するには**管理者または登録されたユーザー ID とパスワード**が必要です。

カメラからの映像データは一旦本機内のメモリーに記録され、その後 HDD に書き込まれます。カメラの台数や設定により、実際に HDD にデータとして保存されるまで、おおよそ**5分～10分程度の時間差**が発生します。

### 簡易再生

ライブ画面のタスクバー上にある**再生**をクリックする事で、現時点でハードディスクに保存されている**最も新しい映像（約5分前）から再生を開始**します。



## 検索再生

マウスを右クリックしメインメニューを表示させます。

検索のアイコンにマウスを合わせると表示されるサブメニューから**目的の再生(検索)パターンをクリック**します。



## カレンダー検索

カレンダーから再生を開始したい日付と、タイムバーから時間帯を検索して再生を開始します。

① カレンダー上の**日付をダブルクリック**し**再生**をクリックします。

**選択した時間の 00 分から再生が開始**されます。

例えば、現時間が 17 時 25 分だった場合、17 時 00 分からの映像を再生します。時間帯指定の場合は次の②に進みます。

② 時間のタイムバー上から **0 ~ 23 の時をダブルクリック**し**再生**をクリックします。**選択した時間の 00 分から再生を開始**します。

例えば、17(時)を選択し再生をクリックすると、17 時 00 分から再生を開始します。分指定の場合は次の③に進みます。

③ 分及びカメラ CH バー上で**マウスをドラッグ状態で左右に移動**すると **0 ~ 59 の数字 (分)** が表示されるので、**目的の数字 (分)** を表示させ**ドロップ**し**再生**をクリックします。



## 日時指定再生

再生を開始したい日付と時間が判明している場合、直接それらの情報を指定し再生を開始する事ができます。数字をダブルクリックすることで▲▼のアイコンが表示されます。



## 最後から再生

現時点でハードディスクに保存されている**最も新しい映像（約5分前）から再生を開始**します。

## 最初から再生

ハードディスクに保存されている**最も古い位置からの再生**を開始します。

## 前回の続きから再生

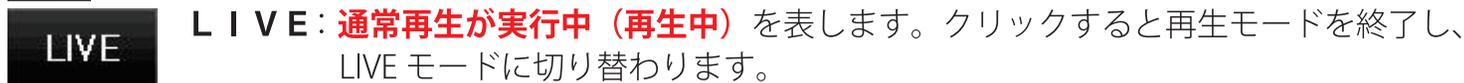
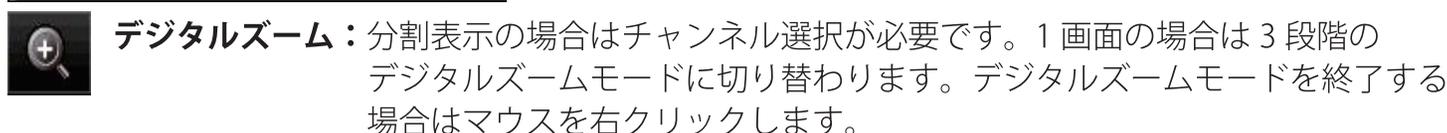
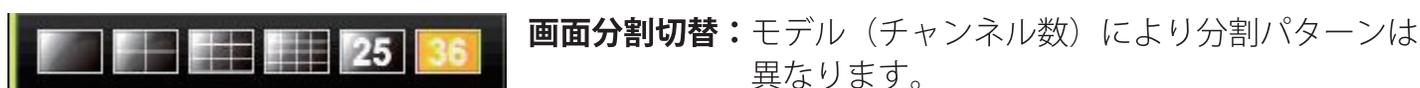
前回、**再生を停止した位置から再生**を開始します。本機を起動後初回の再生では「最後から」と同じ作動になります。本機を再起動した場合、再起動前に最後に再生を停止した位置から再生を再開することはできません。「最後から」と同じ作動になります。

## POS 検索

弊社では本機と POS 機器との検証は実施しておりません。その為、この説明は省略します。

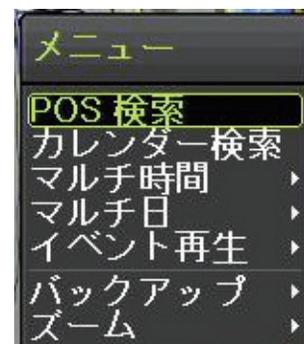
## 手順2 再生中の操作

録画映像を再生中、以下のような再生操作と特殊な再生モードを使用する事が出来ます。



## 検索再生

再生中、様々な条件や検索によって再生を行う**特殊再生機能**を持っています。再生中にマウスを右クリックしメニューを表示させます。目的の再生モードを選択します。



## POS 検索

弊社では本機と POS 機器との検証は実施しておりません。その為、この説明は省略します。

## カレンダー検索

p2 の **検索再生** の **カレンダー検索** と同じ。

## マルチ時間

再生方法をマルチ時間再生に切り替えます。マルチ時間再生とは、**分割画面で特定のチャンネルの 1 時間毎の映像を再生**するものです。

- 1 マルチ時間 → チャンネル選択で再生されます。
- 2 再生操作は通常再生モード同様使用できます。
- 3 マルチ時間モードを終了させ、通常の再生モードに戻る場合、**ESC** ESC をクリックします。

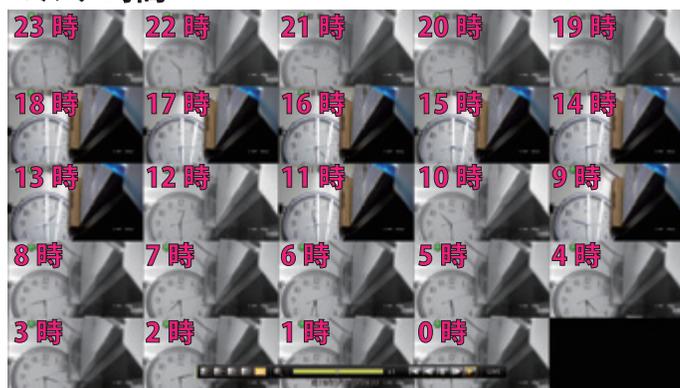
## マルチ日

再生方法をマルチ日再生に切り替えます。マルチ日再生とは、**分割画面で特定のチャンネルの 1 日毎の映像を再生**するものです。

- 1 マルチ日 → チャンネル選択で再生されます。
- 2 再生操作は通常再生モード同様使用できます。
- 3 マルチ日モードを終了させ、通常の再生モードに戻る場合、**ESC** ESC をクリックします。

パノラマ検索、マルチ時間及びマルチ日の分割は、お使い頂いている機種モデル (チャンネル数) によって異なります。

## マルチ時間



## マルチ日



イメージは IRV-HV8032 及び IRV-HD9032 の場合

## イベント再生

再生メニューのイベント再生機能は、現在再生中の映像から、イベント録画された時間帯だけを抽出し再生する機能です。

## 手順3 バックアップ

録画された映像情報・ログ情報・設定情報を USB メモリーに保存することが出来ます。再生のプロセスからのバックアップ操作も可能ですが、ここではメインメニューのバックアップからバックアップ操作を行う手順を説明します。

- 1 USB メモリーを本機の USB ポートに接続します。
- 2 マウスを右クリックしメインメニューを表示させ、**バックアップ**のアイコンにマウスカーソルを合わせ、サブメニューから**バックアップ**をクリックします。ログアウト中の場合はログインユーザー名とパスワードが必要です。



- ③ **デバイス (バックアップデータを保存する USB メモリー) を選択**します。通常は「なし」が選択されていますので、▼をクリックし、接続されている USB の状態によって「デバイス 1」または「デバイス 1 (新規)」を選択して下さい。

**デバイス 1**：この USB メモリーはすでにフォーマットされています。このまま**データを書き込む事は可能**です。

**デバイス 1 (新規)**：この USB メモリーはまだフォーマットされていません。このまま**表示される指示に沿ってフォーマットを行って下さい。但し USB メモリー内のデータは全て消去され、復旧する事は出来なくなります。**

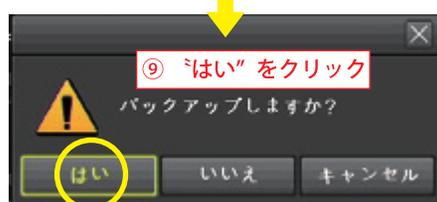
間違いやトラブルを防ぐ為、本機に同時に接続 (差込む) USB メモリーは 1 個のみをお勧めします。USB メモリーが 1 個だけ接続されている場合は「デバイス 1」または「デバイス 1 (新規)」が表示されます。

#### ④ バックアップ容量チェック

接続されている USB メモリーに指定した条件の**バックアップデータが全て収まる (保存できる) 状態 (容量)**



接続されている USB メモリーに指定した条件の**バックアップデータが収まらない (保存できない) 状態 (容量)**



- ⑤ **ファイル形式を「RMS 形式」または「AVI 形式」から選択**します。通常は「RMS 形式」が選択されています。

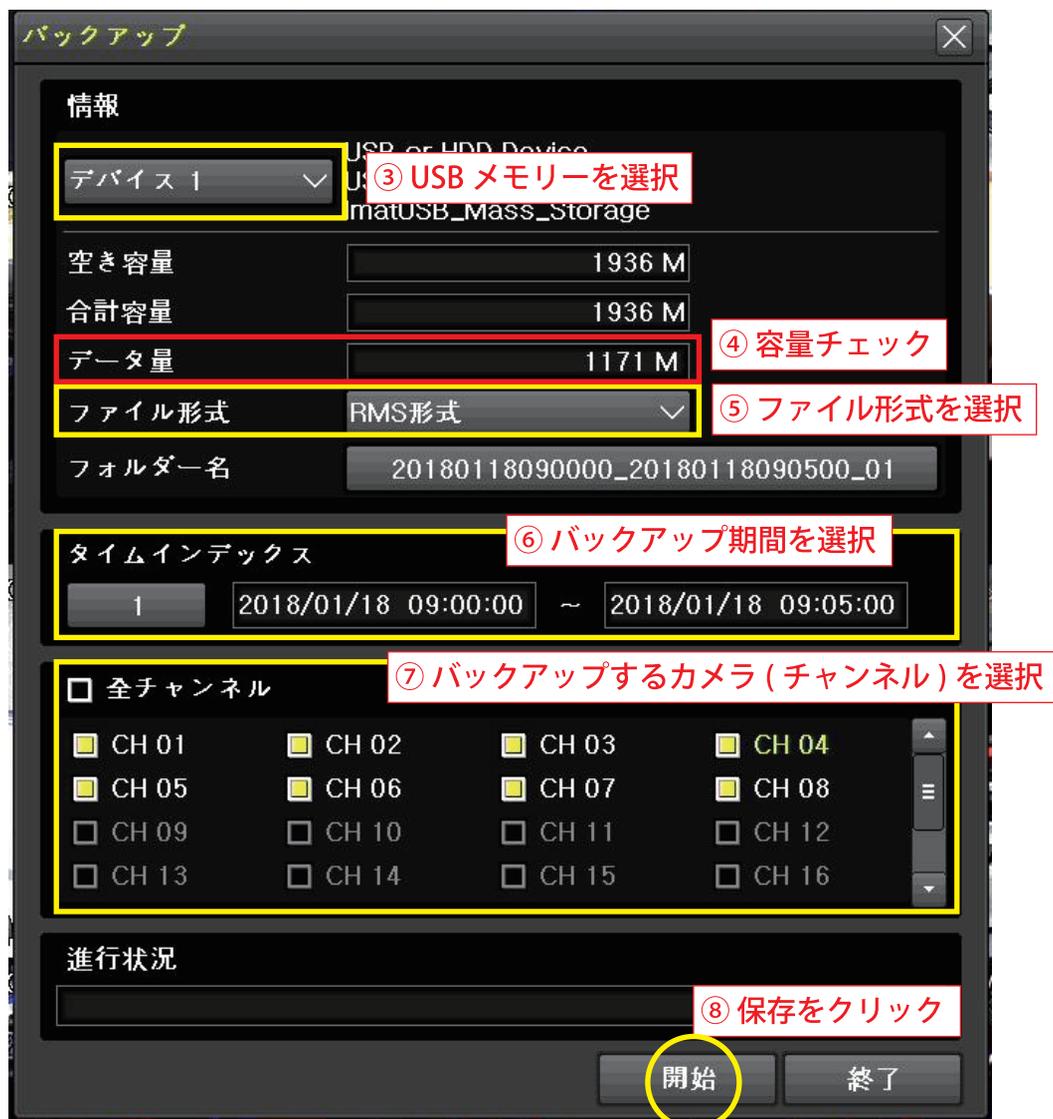
**RMS 形式**：バックアップと同時に再生ソフトが USB メモリーに保存されます。また本機付属の CD-ROM 内に収録されている専用のビューアー及び遠隔ソフトでも再生が可能なファイル形式です。

**AVI 形式**：一般的な PC で再生可能なファイル形式です。Windows PC の場合、標準でインストールされている Microsoft Media Player などで再生が可能です。

- ⑥ タイムインデックスから、**バックアップ開始の日時と終了の日時を指定**します。数字をダブルクリックすることで▲▼のアイコンが表示されます。

- ⑦ **バックアップするカメラ (チャンネル) にチェック (黄色)**を入れます。全てのカメラにチェックを入れた場合は「全チャンネル」にチェックを入れます。

- ⑧ **データ量が空き容量をオーバーしないように**、バックアップ期間（時間）やチェックするチャンネル数で調整します。データ量の数字が**赤**で表示された場合は容量オーバーです。白文字に収まるように調整して下さい。
- ⑨ 設定が完了したら**開始**をクリックし、バックアップ確認のメッセージが表示されますので、**はい**をクリックします。



- ・ RMS形式で保存されたデータは、USBに同時保存されるBackupPlayerで再生します。
- ・ レコーダーのファームウェア (F/W) が旧バージョンの場合、BackupPlayerが同時保存されない場合があります。BackupPlayerは製品付属のCD-ROM内にも収録されています。
- ・ AVI形式で保存されたデータは、PCにデフォルトでインストールされているプレイヤーで再生できます。AVIファイルが再生できない場合、レコーダーの画像圧縮がH.265に設定されている場合は製品に付属のCD-ROM内に入っている、または弊社ホームページからダウンロードできるVLC Playerをご利用下さい。(VLC Playerは64bit PC専用です)

## 手順4 アップデート

本機はPCやスマートフォン同様、オペレーション・システム (OS) 上で作動しています。その為、販売後は**定期または不定期でのファームウェア (F/W) アップデートが必要**となります。このF/Wアップデートには新機能の追加や世界中から寄せられた不具合に対する修正、セキュリティ強化及びバグ修正などが含まれる**大変重要なもの**です。お求め頂いた後の製品の所有権及び使用権は全てお客様または販売店様が保有されている為、**アップデート作業はお客様または販売店様で行って頂く事項**となります。以下の手順でF/Wアップデートを行って下さい。

F/WアップデートにはUSBフラッシュメモリー (USBメモリー) とパソコンをご準備下さい。

- 最新 F/W が公開されると、弊社ホームページ上でその旨を公表し、ファイルのダウンロードが可能となります。
- 本機はセキュリティ機器の為、自動アップデートや本機に接続されたモニター等にアップデートの必要に関するメッセージは一切表示されません。  
弊社の出荷検査の際には、その段階での最新 F/W をインストールして出荷しております。

① 最新の F/W ファイルを入手する。お使いの型番（機種）とチャンネル（モデル）を確認し、**適切なファイル**を入手して下さい。型番及びモデルによって F/W ファイルは異なります。誤って異なるファイルでアップデートを行うと**機器が使用できなくなり、修理扱い**となりますので、十分にご注意ください。

USB メモリーを **PC でフォーマット**し、何も入っていない空の状態にします。

入手した最新 F/W ファイルを USB メモリーへコピーします。弊社ホームページからダウンロード頂いた F/W ファイルは .Lzh または .zip によって圧縮されています。USB メモリーへコピーする前に PC でファイルを解凍し、**拡張子が .bin** になっている事をご確認して下さい。

最新 F/W ファイルの入った USB メモリーを本機の USB ポートに接続します。

マウスを右クリックしメインメニューを表示させ、**設定**のアイコンを左クリックします。

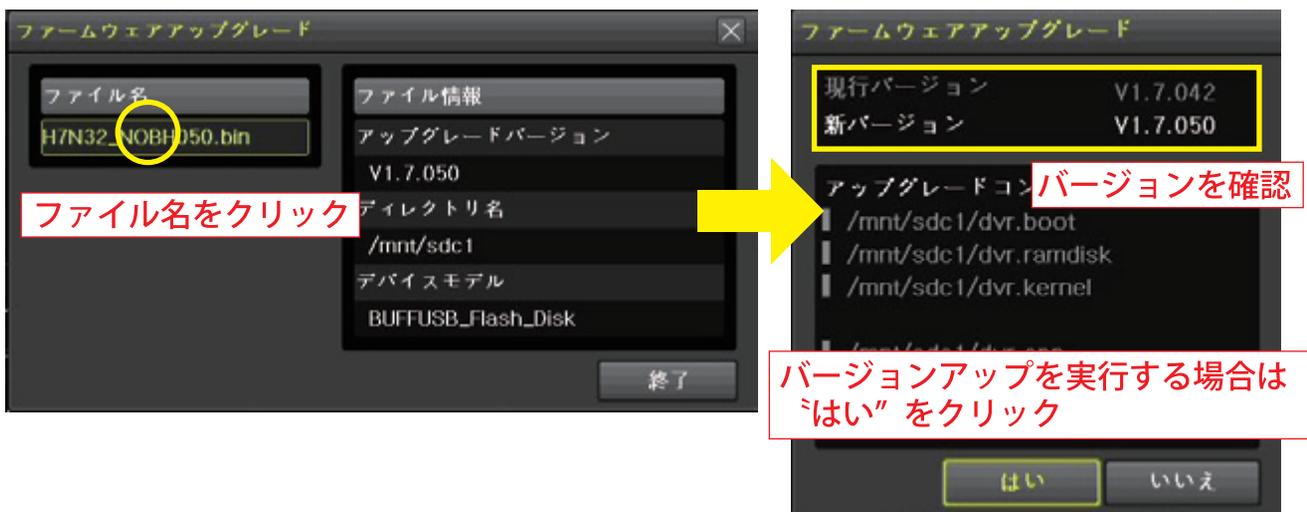
ログアウト中の場合はログインユーザー名とパスワードが必要です。

設定メニューの**システム**を左クリックし、「**5. アップグレード**」の**ファームウェア**をクリックします。



② USB メモリー内の F/W ファイルを検索し内容が表示されるので、**ファイル名**をクリックします。

③ **現行バージョン**と**新バージョンの内容を確認**し、アップデートを開始する場合は**はい**をクリックします。本機は自動でバージョンアップ作業を開始し、再起動します。



## 手順5 時計合わせ

本機内のカレンダー（日付と時刻）を合わせます。

本機がインターネット回線に接続されている場合、インターネット上の時刻同期サーバー（NTP）に自動で定期的に接続し時刻を合わせますが、そうでない場合は**定期的に手動で合わせる必要**があります。

本機の初期設定では**NTP 接続はOFF**です。**定期的な手動合わせが必要**です。

**手動で合わせる**に沿って時計合わせを行って下さい。

またインターネット回線との接続を行う場合、**NTP 使用の場合**に沿ってNTP サーバーとの時刻同期設定を行って下さい。



本機の出荷検査の段階で、時刻合わせはNTPサーバーによる時刻同期によって完了しています。NTPサーバーを利用せず手動合わせで使用した場合、本機の設置環境（温度や湿度）が適切でないまたは変動が大きい、電源電圧が不安定、周囲に磁気や電磁波を発生する及び消費電力の高い機器が存在するなど、様々な理由から時刻は狂います。

**定期的な調整（時計合わせ）は必ず必要**です。

### NTP 使用の場合

- ① マウスを右クリックしメインメニューを表示させ、**設定**のアイコンをクリックします。ログアウト中の場合はログインユーザー名とパスワードが必要です。
- ② **時間**のアイコンをクリックし**時刻同期**のタブをクリックします。設定を開いた段階では時間のアイコンが選択された状態になっています。
- ③ 通常（初期状態）では「**1. 時刻同期**」が**オフ**になっていますので、▼をクリックし**NTP**を選択します。
- ④ サーバータイプを「**NTP**」または「**ユーザー設定**」を選択します。通常は**NTP**が選択されています。  
**NTP**：インターネット上にある**本機の製造元が指定したNTPサーバー**を利用します。  
**ユーザー設定**：下記のサーバーアドレスに入力された**ユーザー指定のNTPサーバー**を利用します。
- ⑤ 上記で**ユーザー設定**を選択した時のみ、編集が可能となります。枠内をクリックし「**IP**」または「**URL**」を選択します。  
**IP**：NTPサーバーの**IPアドレス**を入力します。NTPサーバー管理者が公開しているIPアドレスが必要です。  
**URL**：NTPサーバーの**URLアドレス**を入力します。NTPサーバー管理者が公開しているURLアドレスが必要です。
- ⑥ 1日の間に本機がNTPサーバーに時刻を問い合わせる回数を1, 2, 4, 6, 24回から選択できます。1日の間に本機が通常は24回（1時間に1回）が選択されています。
- ⑦ **保存**をクリックします。



時刻同期機能を利用するためには、本機の「Ethernet 1」ポートがインターネットを含む NTP サーバーが利用可能な TCP/IP ネットワークに接続され、適切な IP 設定が施されていなければなりません。NTP サーバーに接続できない環境で時刻同期機能を利用しないでください。「オフ」の場合より時計のズレが大きくなる場合があります。

## 手動で合わせる

- ① マウスを右クリックしメインメニューを表示させ、**設定**のアイコンをクリックします。ログアウト中の場合はログインユーザー名とパスワードが必要です。
- ② **時間**のアイコンをクリックし**時間**のタブをクリックします。
- ③ 「1. 日時」の枠内の数字をダブルクリックすると▲▼アイコンが表示されますので、設定したい日時に合わせます。

日時の数字がグレーの状態では編集できない場合、時刻同期の項目で「1. 時刻同期」が NTP に設定されています。時間を合わせる前に時刻同期の項目の「1. 時刻同期」をオフに選択し保存して下さい。

- ④ 「2. 日付表示形式」の▼をクリックし、日付表示形式を選択します。  
2018年10月5日の場合  
・日/月/年 05/10/2018  
・月/日/年 10/05/2018  
・年/月/日 2018/10/05 通常設定
- ⑤ **保存**をクリックします。



## 2 Web ブラウザ

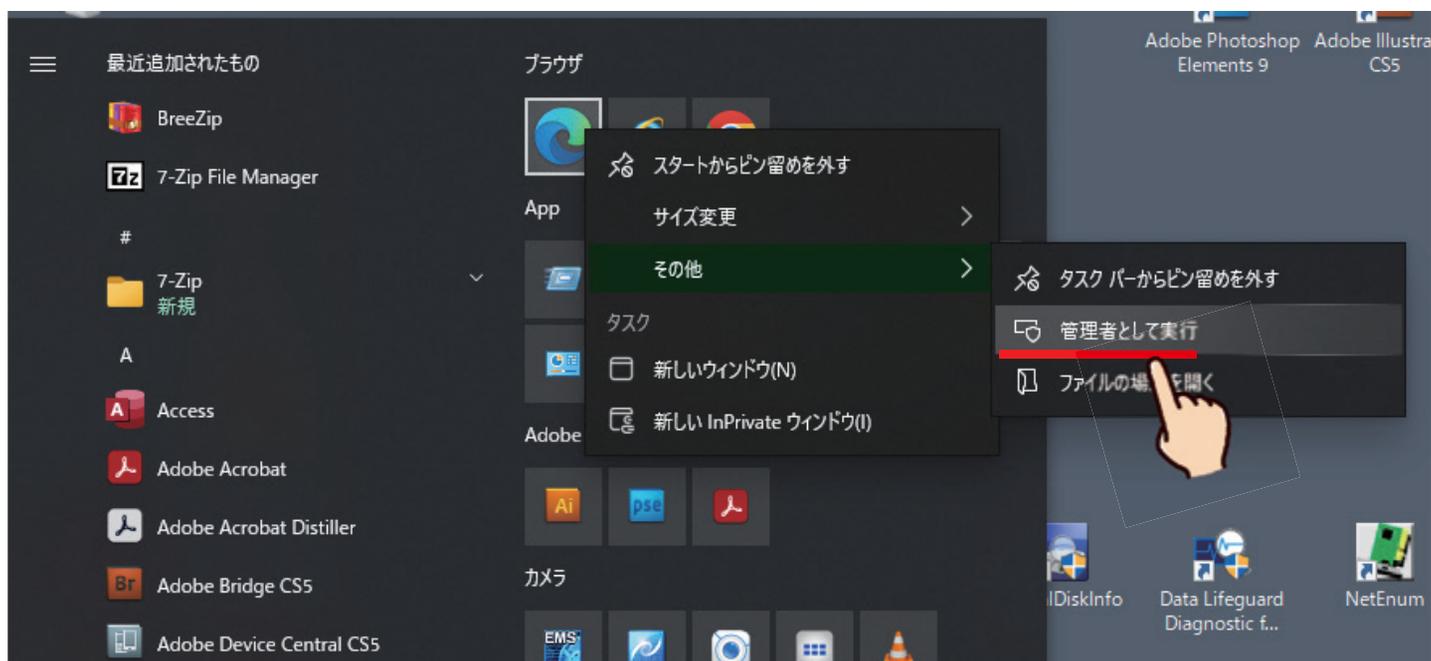
- ① Web ブラウザ (ブラウザ) での遠隔接続の場合、お使いのパソコン (PC) に不足している Windows プログラムやブラウザ拡張プログラム (プラグインソフト、アドオンソフト) をインストールする必要があります。  
これらのプログラムは必要に応じてインターネットまたは機器から入手しインストールされます。ただし、お使いの PC やネットワークのセキュリティ環境や管理体制によって、安易にソフトを社内ネットワークに接続された PC へインストールする事が出来ない場合や環境、管理的な問題があります。このような場合、お使いの PC またはネットワークを管理しているネットワーク管理者へお問合せ下さい。
- ② ブラウザでの遠隔接続は、各社共通のオープンソースによって**必要最小限のみの機能を簡易的に操作**できる事を前提に製作されています。その為、全ての操作や機能及び作動を推奨するものではない事を事前にご理解ご納得頂いた上でご利用下さい。
- ③ ブラウザでの遠隔接続ではセキュリティ強化の為 **2段階認証**を行います。その為ダイレクトリンクやショートカット、ブックマークからのログイン及び接続は通常は行えません。
- ④ ブラウザで使用できる機能はライブ映像監視、PTZ 操作、再生及びバックアップ機能の4つに限られます。それ以外のオリジナル機能を利用する場合は、**専用のソフト**をご利用下さい。
- ⑤ 対応しているブラウザは Microsoft 社の **Edge の IE モード、Google Chrome、Safari** で、Google Chrome と Safari は設定のみ対応で動画は再生できません。
- ⑥ ブラウザでの遠隔接続では PC 環境 (PC スペック)、ネットワーク環境及び回線品質により**ブラウザの操作や映像の動きに大きく影響**します。
- ⑦ ブラウザでの遠隔接続を行うには録画装置 (レコーダー) のネットワーク設定が必要です。
- ⑧ **P2P 接続**でのブラウザでの遠隔接続はできません。

### 手順 1 ブラウザの実行

Microsoft Edge を**管理者として実行**します。

※Microsoft Edge のアプリアイコンを左クリック → その他 → 管理者として実行

通常の実行 (Microsoft Edge のアイコンをダブルクリック) した場合、ライブ映像と再生の視聴は可能ですが、バックアップをとる事が出来ませんのでご注意ください



アイコンを左クリック → その他 → 管理者として実行

## 手順2 レコーダーへの接続

ブラウザ (Microsoft Edge) のアドレスバーに **http://** に続けてレコーダーに割当てられた同一ネットワーク内の場合は、ローカル IP アドレス (VPN 接続を含む) と Web ポート番号遠隔地の場合は、グローバル IP アドレス (固定 IP アドレスを含む) または DDNS アドレスと Web ポート番号を入力します。

**例** **http://xxx.xxx.xxx.xxx : xxx**

- ローカル IP アドレス
- グローバル IP アドレス
- DDNS アドレス

Web ポート番号

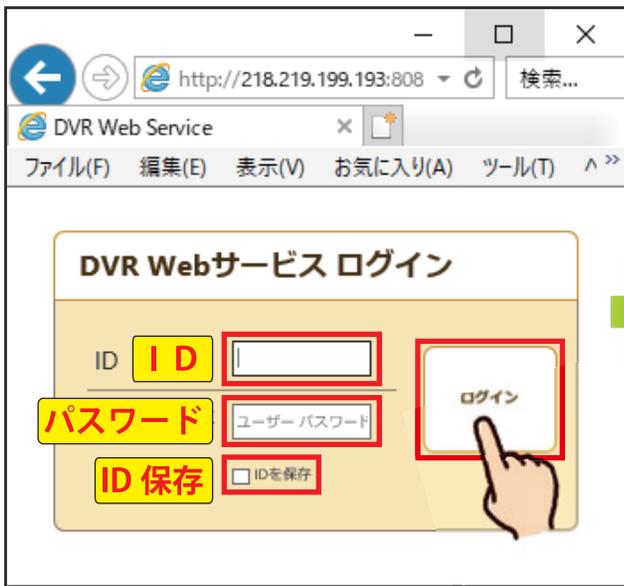
- IP アドレスと Web ポート番号の間は「: (コロン)」を入れて下さい。
- ブラウザの設定によっては「アドレスバー」と「検索バー」の2つが表示されている場合があります。検索バーの方に入力しないように注意して下さい。
- Microsoft Edge は「IEモード」のみで作動します。Microsoft Edge の設定が IE モードになっているかご確認下さい。Microsoft Edge の IE モード設定は Edge のバージョンやアップデートの度に変更される事が有りますので、手順は Microsoft ヘルプセンターなどでご確認下さい。



## 手順3 ログイン

- レコーダーの **Web サービスログイン** ページが開きますので、ID とパスワード欄にレコーダーに登録しているユーザー ID とパスワードを入力し **ログイン** をクリックします。  
ブラウザへ ID を記憶させ次回以降自動表示させたい場合は **ID の保存** にチェックを入れた状態で **ログイン** をクリックします。
- PC **Web ビューア** ページが開きますので **接続** をクリックします。お使いの PC にブラウザでの遠隔接続に必要な関連ソフトがすでにインストールされている場合、レコーダーに接続されライブ映像が表示されます。  
関連ソフトがインストールされていない場合、表示される指示に沿ってインストールを完了させて下さい。

**注意** お使いの PC やネットワークのセキュリティ環境や管理体制によって、安易にソフトのインストールが出来ない場合があります。そのような場合は、お使いの PC またはネットワーク管理者へお問合せ下さい。



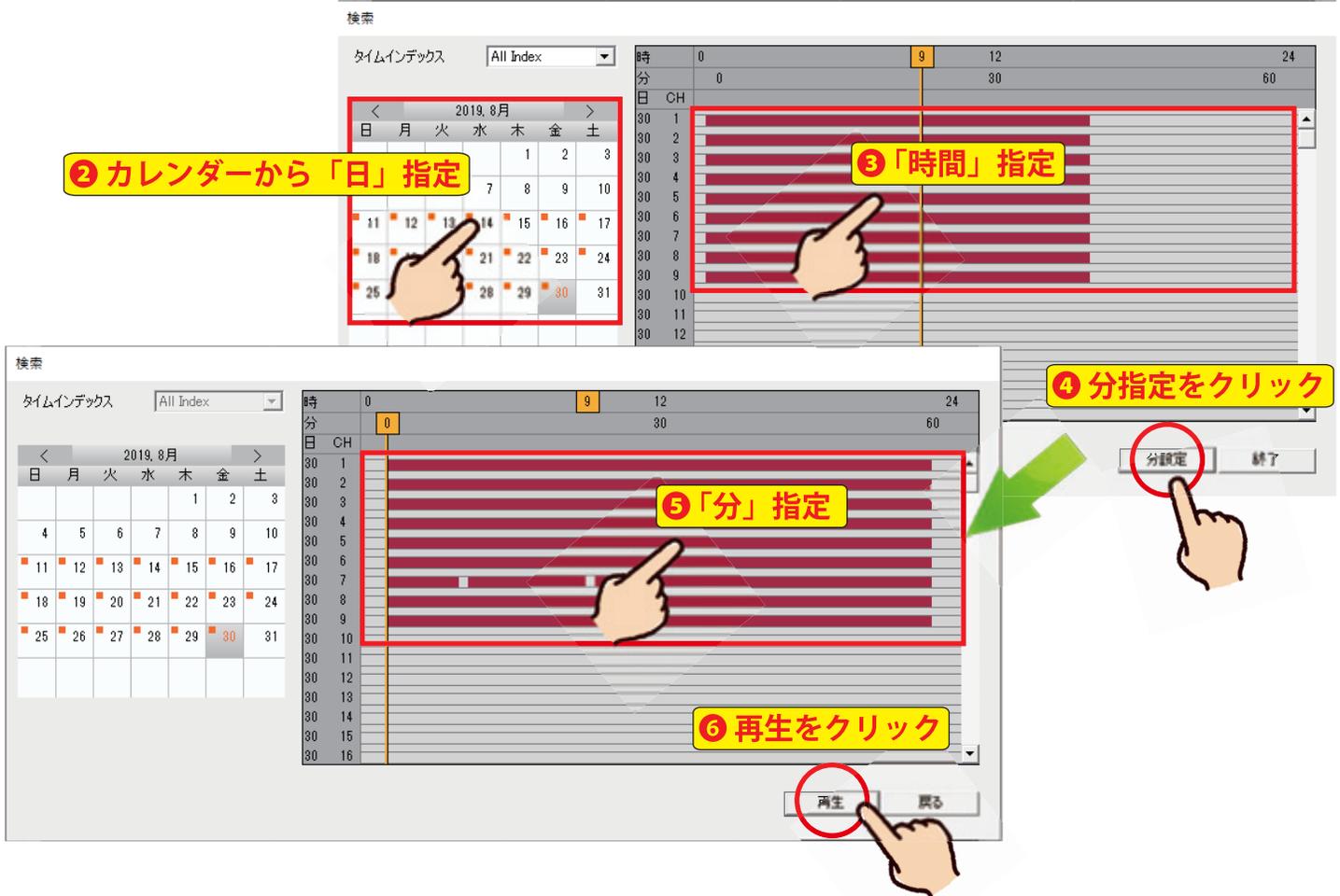
## 手順4 再生

ライブページから操作パネルの **再生** をクリックします。5分前の映像から自動で再生を開始します。



日時を指定して再生したい場合、**検索** をクリックし表示されるカレンダーから **日付** をクリック → バーグラフから **時** をクリックし **分指定** をクリック → バーグラフから **分** をクリックし **再生** をクリックします。





## 手順5 バックアップ

- ・ブラウザを用いたインターネット経由でのバックアップの場合、PC 及び回線に大きな負担をかける為、PC の作動が重くなり回線速度が落ち、バックアップ時間が必要以上に長くなる場合があります。
- ・ファイルの破損を避ける為、バックアップ中は PC で他の作業を行う事を極力避けて下さい。
- ・バックアップ機能は再生ページからのみ行える機能です。ライブページの場合は一旦再生ページに切り替えて行って下さい。
- ・バックアップを実行するにはブラウザを管理者として開いておく必要があります。手順1 をご参照下さい。
- ・USB フラッシュメモリー (USB) に直接書き込む手段も可能ですが、バックアップに時間がかかりファイルが破損する可能性が高くなります。その為一旦 PC 内のハードディスク (HDD) に保存し、その後 USB へバックアップファイルをコピーする 2 段階バックアップをお勧めします。ここではこの 2 段階バックアップについて説明します。

① 再生ページの「バックアップ」をクリックします。



② バックアップの条件設定ページが開きます。各項目（バックアップ条件）を指定し、最後に**開始**をクリックします。

- (1) バックアップの**開始日時**及び**終了日時**の指定。
- (2) バックアップ対象**チャンネル**（カメラ）も指定。全てのカメラを選択する場合は「全部」にチェックを入れる。
- (3) **保存先**を指定。デフォルトの保存先はお使いの PC のローカルディスク C（Windows のシステムドライブ）内の Backup フォルダ（無い場合は自動で Backup フォルダを新規作成）バックアップファイルの保存先を変更する場合はここで行う。
- (4) バックアップ**ファイル形式**（フォーマット）を指定。デフォルトは【RMS Format】が指定されているので、必要に応じて **RMS Format** または **AVI Format** を選択。

**RMS Format**：専用のバックアッププレーヤー（BackupPlayer）でのみ再生が可能。

その為、専用ソフトを持たない物は再生する事が出来ない。複数台のカメラを同時再生する事ができます。

**AVI Format**：動画ファイルの基本フォーマットの為、多くの PC に標準インストールされている動画再生ソフトで再生が可能なので、だれでも再生する事が、複数台のカメラを同時再生する事ができません。

- (5) **check** をクリック。空き容量に対しバックアップサイズがオーバーしていない事を確認。
- (6) バックアップファイルに**パスワード**を付け保護したい場合、**パスワード保存**にチェックを入れオリジナルのパスワードを入力します。
- (7) 全てのバックアップ条件を設定後**開始**をクリックする。**進行状況**にバックアップファイルの転送状態が表示されていくことを確認します。
- (8) バックアップ完了のメッセージが表示されます。HDD に生成されたバックアップファイルを USB にコピーします。

The screenshot shows the 'バックアップ' (Backup) configuration window. It includes the following elements:

- (1) 開始日時及び終了日時**: Fields for '開始時間' (Start Time) and '終了時間' (End Time), both set to 02-09-2019 10:12:47 and 10:17:47 respectively.
- (2) チャンネル**: A grid of checkboxes for channels CH1 through CH12, with a '全部' (All) checkbox checked.
- (3) 保存先**: A text field for '保存先' (Save Path) containing 'C:\Backup\\*'.
- (4) フォーマット形式**: A dropdown menu set to 'RMS Format'.
- 容量確認**: A section showing '空き容量' (Free Space) as 1.64 TB and 'バックアップサイズ' (Backup Size) as 0 KB. A 'Check' button is highlighted with a hand icon and circled.
- (5) check をクリック**: A callout pointing to the 'Check' button.
- (6) パスワード**: A checkbox for 'パスワード保存' (Save Password) which is currently unchecked.
- (7) 開始をクリック**: A callout pointing to the '開始' (Start) button at the bottom right.

At the bottom of the window, there are buttons for 'ビューアーダウンロード' (Download Viewer), '開始' (Start), and 'キャンセル' (Cancel).

## 手順6 バックアップファイルの再生

バックアップの際、バックアップフォーマット「RMS」を設定した場合、複数台のカメラを同時再生する事が出来ます。

バックアップファイルを再生するには、専用の再生ソフト（Backup Player）が必要です。

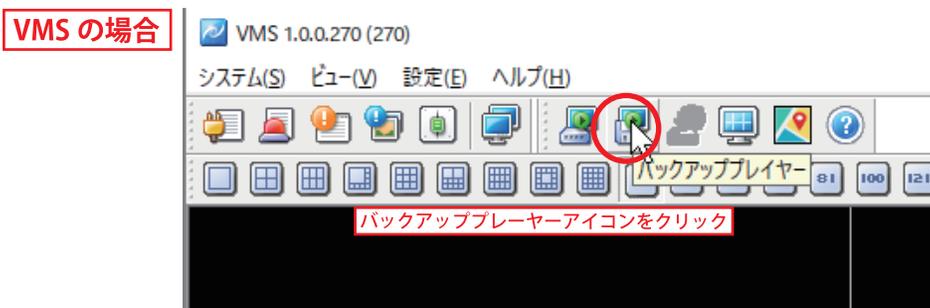
専用のプレイヤーソフトは製品付属のCD-ROMに付属されている「BackupPlayer」またはWindows PC専用遠隔監視ソフト「VMS」を利用します。

Backup PlayerはPCへのインストールは必要無くそのまま実行する事が出来ますが、VMSは事前にインストールが必要です。

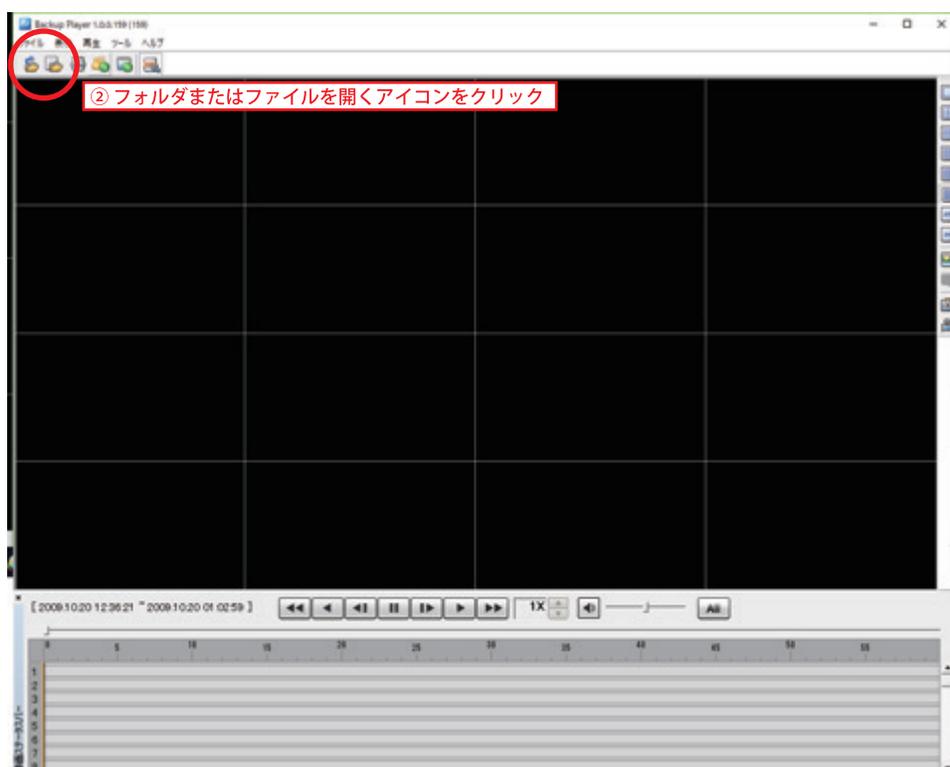
バックアップの際、バックアップフォーマット「AVI」を設定した場合、複数台のカメラを同時再生する事は出来ません。

AVIフォーマットは動画ファイルの基本フォーマットの為、多くのPCに標準インストールされている動画再生ソフトで再生する事が可能です。また再生の手順も非常に簡単で、バックアップファイルをダブルクリックする事で再生が開始されます。

- ① BackupPlayerを実行するには、CD-ROMからまたはHDDにコピーしたBackupPlayerプログラムを直接実行またはWindows PC専用遠隔監視ソフト「VMS」をインストールしているPCの場合、スタートメニューのVMSフォルダー内にあるBackupPlayerを実行。VMSを実行しメインページ上のバックアッププレイヤーアイコンをクリックしBackup Playerを実行します。



- ② バックアッププレイヤーが起動しますので、【フォルダを開く】、または【ファイルを開く】アイコンをクリックし、バックアップファイルのフォルダまたはファイルを指定します。
- フォルダを選択した場合、複数のチャンネル（カメラ）を同時再生する事が出来ます。
  - ファイルを選択した場合、チャンネル個別のバックアップ映像を再生する事が出来ます。複数台のチャンネル（カメラ）を同時再生することは出来ません。



# B SmartEyes Pro

## 手順1 アプリの入手

1 専用のスマートフォン用アプリケーション (App) を入手します。スマホのカメラを起動しQRコードを読み取りアプリをダウンロードします。

**注意** アプリのダウンロードにはお客様個人のユーザー ID とパスワードが必要です。

**メモ** QRコードが読み取れない場合、ダウンロードストアにアクセスし

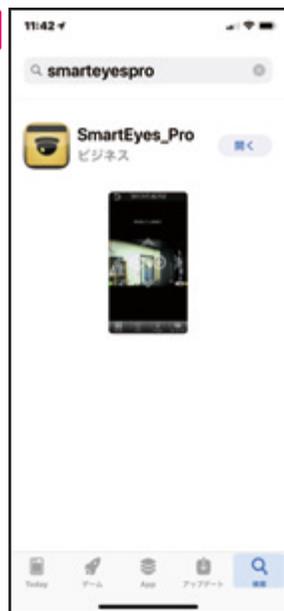
 iOS の場合 **App Store**

 Android の場合 **Google Play** から

**smarteyespro** を検索し、ダウンロードして下さい。



iOS

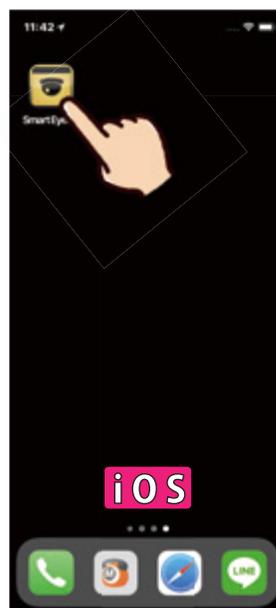


Android



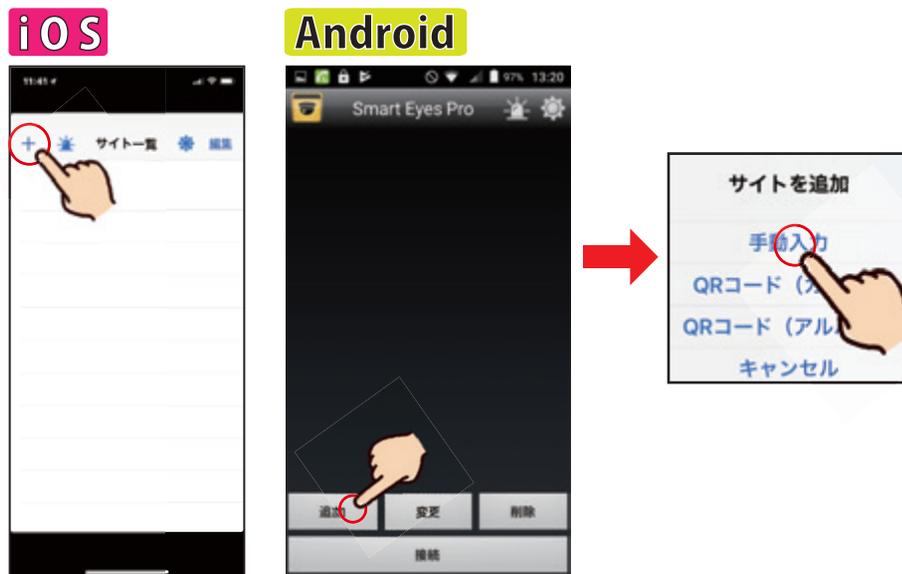
2 スマホのアプリをタップして起動します。

**メモ** 初回のみ、スマホの機種によっては通知やアクセス許可を求められるメッセージが表示される場合があります。全て許可をタップして下さい。



## 手順2 デバイス登録

- 1 **iOS** の場合は左上の **+** を、**Android** の場合は左下の**追加**をタップし、次に表示されるサイトの追加方法から**手動入力**をタップし、録画機情報の入力を行います



- 2 次の項目を入力後、最後に**iOS**は右上の**完了**を**Android**は下の**OK**をタップします

<b>サイト名</b>	お客様が自由に名前を付けて下さい
<b>IP/ホスト</b>	_____と入力
<b>ポート</b>	_____と入力
<b>ユーザー名</b>	_____と入力
<b>パスワード</b>	_____と入力

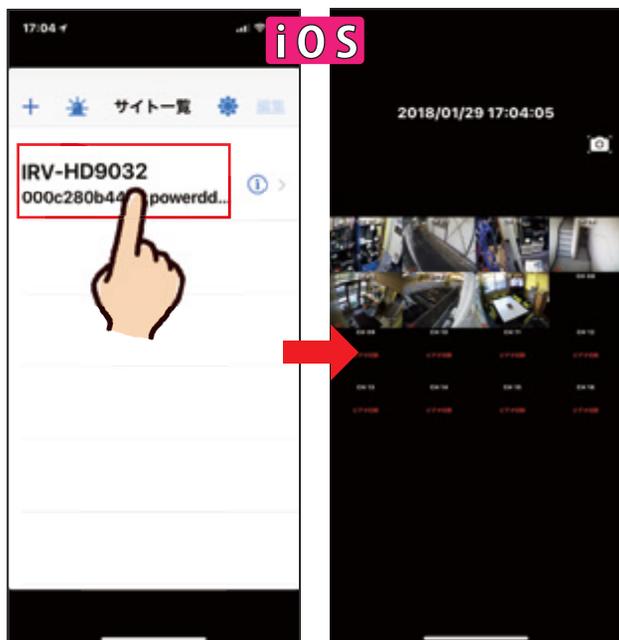
**注意** 登録情報は一文字でも誤ると録画機に正常に接続出来なくなります。**十分にご注意**下さい



### 手順3 ライブ

接続リスト「登録したもの」をタップすると**ライブ映像**が表示されます

**注意** 接続出来ない、映像が出ないなどの場合、録画機の設定の問題、インターネットの問題、登録内容の誤りなど、様々な理由が考えられます。そのような場合はもう一度ご確認くださいか、担当者または販売店へお問合せ下さい。



### 手順4 ライブ操作

- タップ** メニュー表示      **ダブルタップ** 1画面表示
- ピンチイン/アウト** 1画面表示の際はデジタルズームイン/アウト
- 上下スワイプ** 分割表示切替 (1画面、4分割、9分割、16分割)
- 左右スワイプ** 表示チャンネル送り (表示チャンネルは分割表示と連動します)

- モード** 画面分割切替え
- PTZ** PTZ 操作
- P.B に移動** 再生
- リレー出力** リレー出力設定
- Speaking** 双方向オーディオ ON/OFF



- スナップショット (静止画)
- 接続リストに戻る

SmartEyes Pro (App) は最新の OS (iOS/Android) に対応出来るように開発されています。OS は最新の端末でできるように開発され定期的にアップデートされます。その為、端末は古いまま OS と App のみが最新バージョンにアップデートされる為、互換バランスが保てなくなり App が正常に作動しない場合や操作中に落ちる (App が強制終了する) 現象が発生する場合があります。端末と OS の互換に関するメーカーサポートは、約 3 年～ 5 年と言われています。この現象は SmartEyes Pro 以外の App でも同様です。

## 手順5 再生

録画機に保存されている過去の映像を**再生**します。**iOS** **Android** 共に、操作はほぼ同じです。LIVE 中の操作パネルの **P.B に移動** をタップ → 現時間帯の 0 分の映像が表示され、再生操作を行う事が出来、さらに **サーチ** をタップし **日時** を指定し再生する事が出来ます。



## 手順6 再生操作

再生には**通常モード**と**倍速モード**の2つのモードが有り、用途に合わせて使い分けます



- ◀ **通常モード** 早戻し (16 倍速)    **倍速モード** 倍速戻し (1, 2, 4, 8, 16, 32, 300 倍速)
- ◀ 逆再生    || 一時停止    ▶ 再生
- ▶▶ **通常モード** 早送り (16 倍速)    **倍速モード** 倍速送り (1, 2, 4, 8, 16, 32, 300 倍速)
- 📺 分割表示切替 (1 画面、4 分割、9 分割、16 分割)    🔍 カレンダー／時間帯検索
- 🔄 再生モード (通常モード／高速モード) 切替    🔄 ライブモードに切替

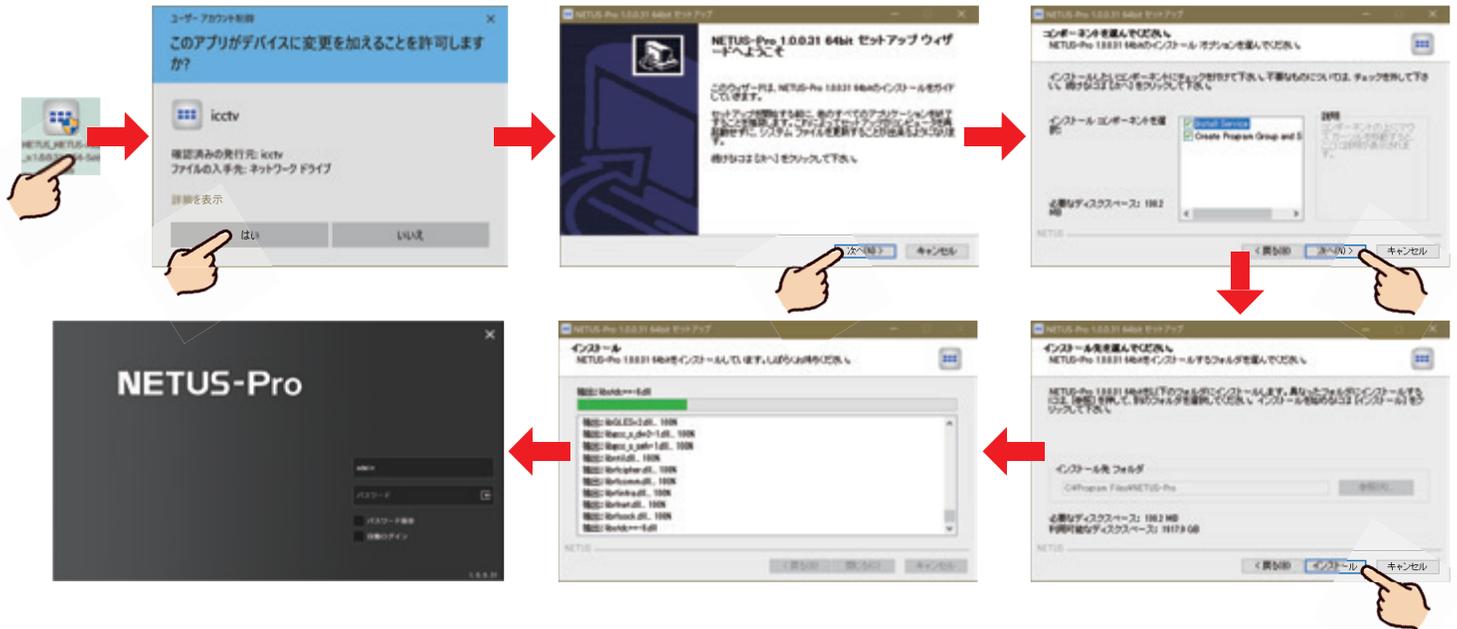
**メモ** 1 時間単位での連続再生が可能です。時間をまたぐ際、Continuous Play というメッセージが表示されますので**はい**をタップすると次の時間帯に移動します。

## 4 NETUS-Pro

### 手順1 NETUS-Pro のインストール

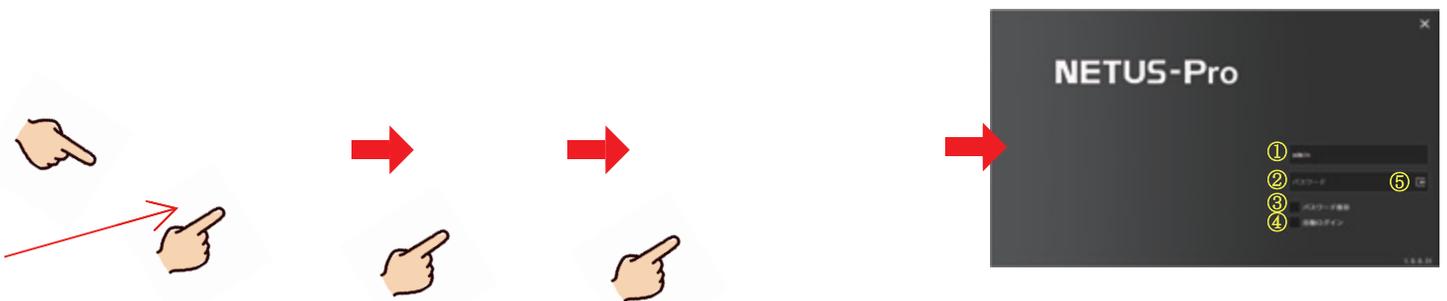
製品に付属している CD-ROM から、クライアントソフト **NETUS-Pro** をインストールします。

**注意** ソフトは **Windows 版** と **Mac 版** があり、また Windows 版には **32bit 版** と **64bit 版** があります。使用する PC 環境に合わせてお選び下さい。お使いの PC が 32bit 版か 64bit 版かは Windows の「コントロールパネル」⇒「システム」でご確認頂けます。



### 手順2 NETUS-Pro の起動と終了

NETUS-Pro はスタートメニューまたはデスクトップのアイコンから起動します

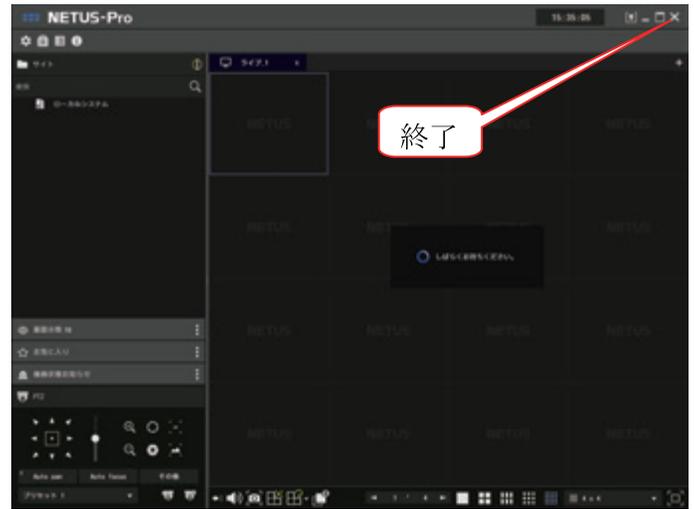


- ① ログイン ID：NETUS-Pro を操作するためのユーザーのユーザー ID を入力します。管理者のユーザー ID は **admin**
- ② パスワード：NETUS-Pro を操作するためのユーザーのパスワードを入力します。管理者パスワードは \_\_\_\_\_
- ③ パスワード保存：チェックすると、次回のログイン時から **パスワードが入力された状態** で表示されます。
- ④ 自動ログイン：チェックすると、次回から **ユーザー ID とパスワードの入力を省略** することが出来ます。

**注意** ここで使用するアカウントは NETUS-Pro 専用のもので Windows や機器（DVR・NVR 等）にログインするためのアカウントとは別のものです。また NETUS-Pro は、ログインするユーザー毎に操作範囲を設定することが出来ます。デフォルトの管理者パスワードは機器添付の CD-ROM 内に収録されている、NETUS-Pro 日本語取扱説明書を参照下さい。

NETUS-Pro を用いての PC での遠隔接続は PC スペックや双方のネットワーク環境、回線速度、回線コンディションやネットワーク機器、データ量などの面から「**常時接続**」には適しません。1 日 1 回以上または必要に応じて PC 並びに NETUS-Pro の再起動が必要となります。

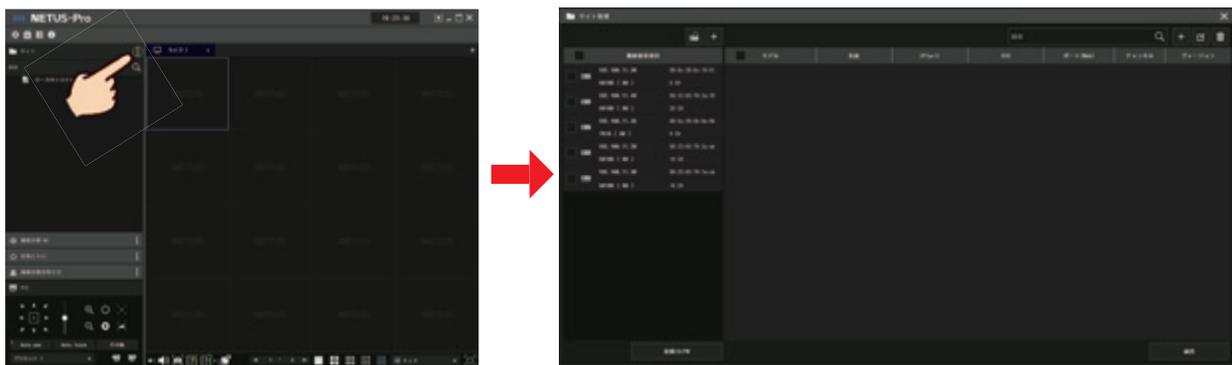
NETUS-Pro を終了する場合は、タイトルバーの右端（ウィンドウ右上）にある **終了** アイコンをクリックする。



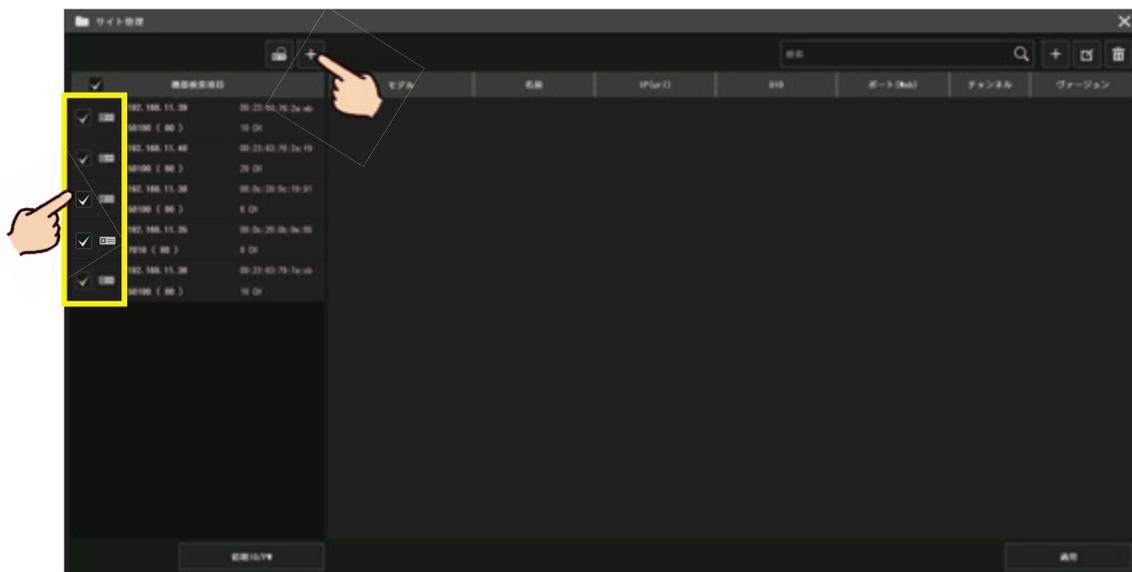
### 手順3 NETUS-Pro ヘドバイス登録

レコーダーの登録方法は NETUS-Pro が作動している PC と登録しようとしている機器との IP ネットワーク上の位置関係等の条件によって、**同一ネットワーク内にある機器を登録**するのかそれとも**異なるネットワーク内（VPN 及びインターネットの固定 IP を含む）にある機器を登録**するのにかによって手順が異なります。後者の登録に関しては機器添付の CD-ROM 内に収録されている、NETUS-Pro 日本語取扱説明書を参照下さい。

- 1 NETUS-Pro と接続しようとしている機器（DVR・NVR 等）が同一ネットワーク（セグメント）内にある場合、**機器検索機能**を使って接続することが出来ます。  
**機器登録** ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを開きます。



- 2 左側のリストに表示された機器の中から登録するものにチェックを入れ、**+ 機器自動追加** ボタンをクリックする

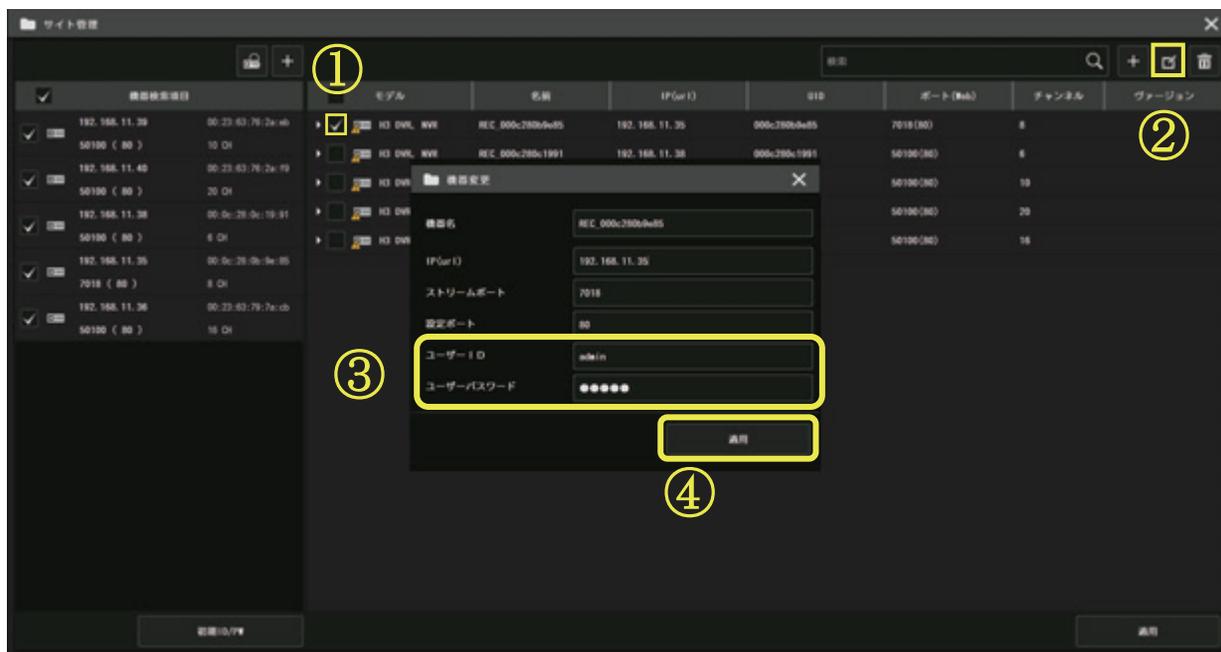


**注意** 認証情報は初期設定値のままです。機器に登録された接続情報（ユーザー ID やパスワード）が異なる場合、（警告）マークが表示され、正しい接続情報を入力しないと登録出来ません。

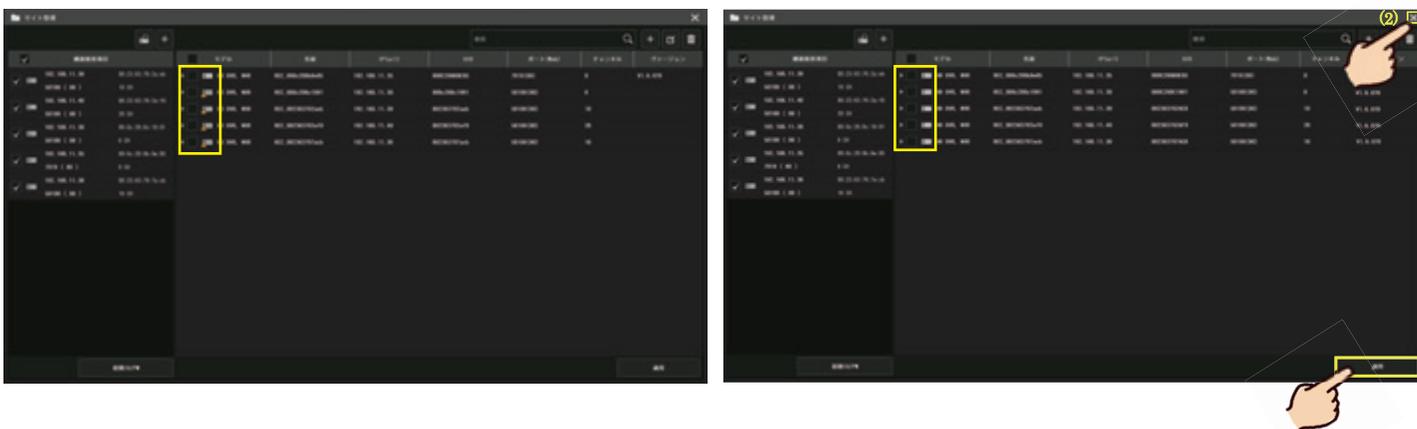
**3** 必要に応じてユーザー ID とユーザーパスワードを変更する。

変更の必要が無い場合は次の**4**に進む。

警告マークの表示された機器の中から**1つにチェック**を入れ  **機器変更** ボタンをクリックして「機器変更」ウィンドウで機器に登録しているユーザー ID とユーザーパスワードを入力してから **適用** ボタンをクリックする。



**4** 他の機器に対しても**3**の操作を繰り返し、全てのアイコンから  警告マークを消し、**適用** を押し、続けて  **終了** ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを閉じる。

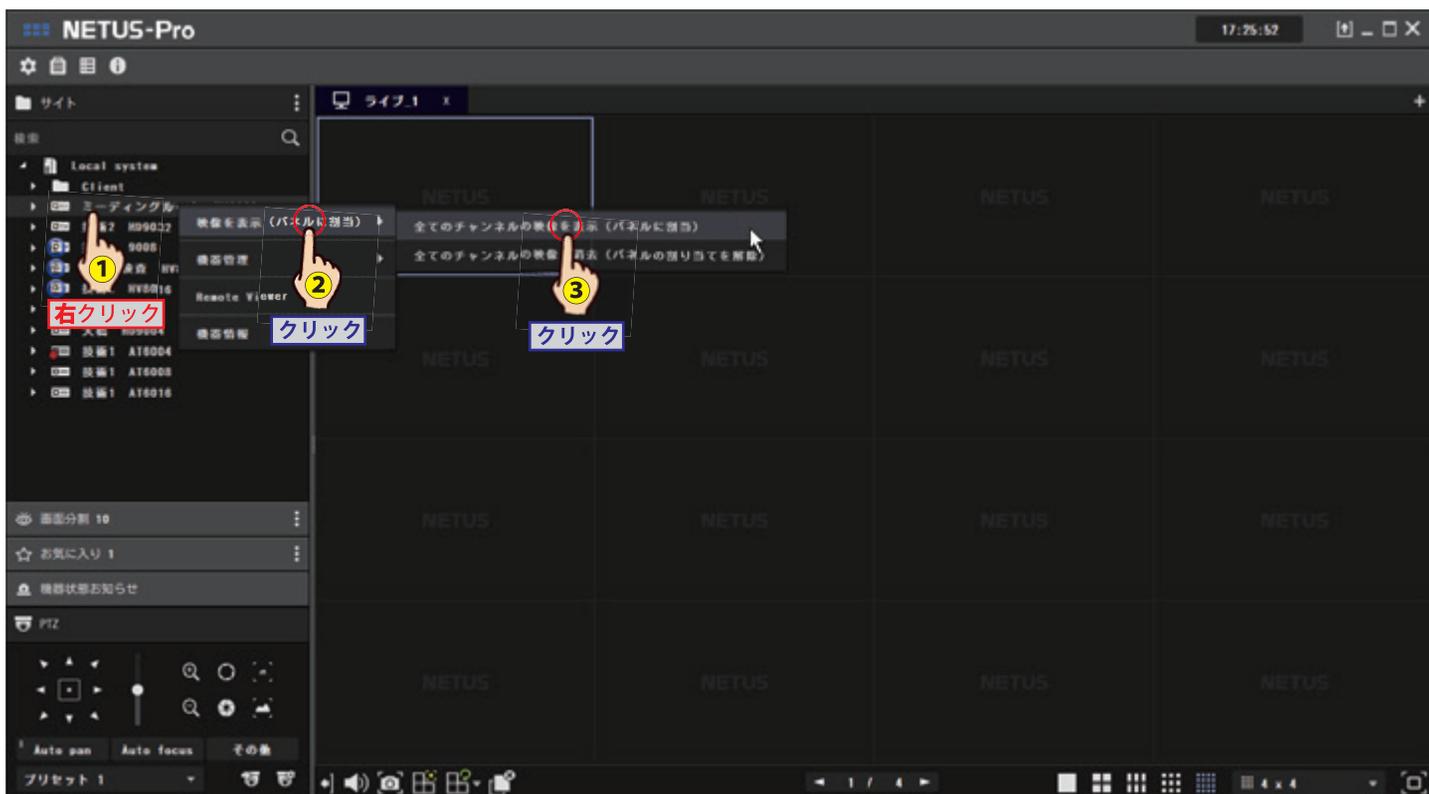


## 手順4 ライブの開始と終了

NETUS-Pro 起動直後はライブパネル（ライブモード）が開き、前回まで接続していたデバイスに再接続しライブ映像を映し出します。ただし設定が必要です。前回接続していたデバイスが無い、または接続先と繋がらない場合は何も映し出されません。

### ライブ映像の開始

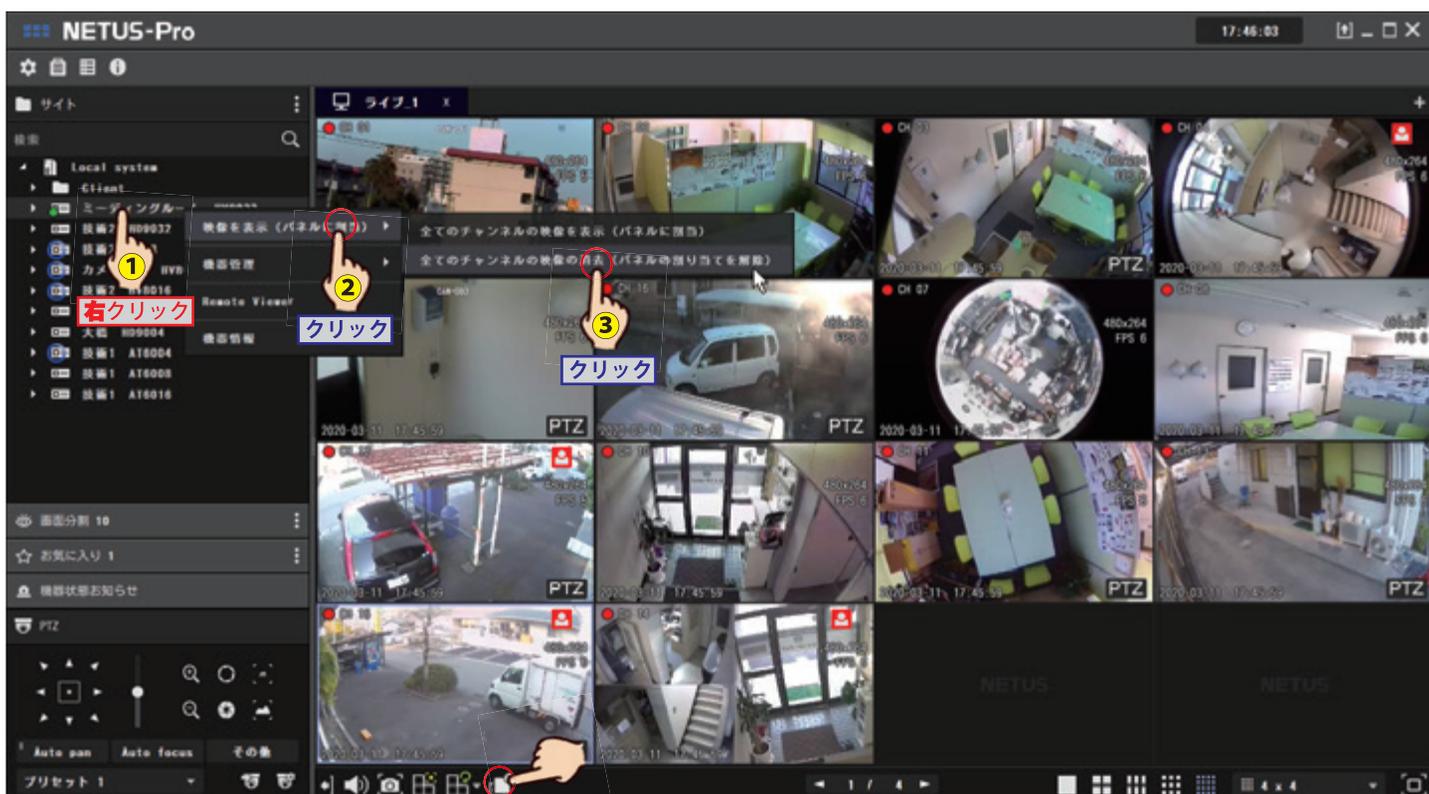
ライブ映像を映し出したいデバイスの名称を**右クリック**し **映像を表示（パネルに割当）** → **全てのチャンネルの映像を表示（パネルに割当）** を選択



## ライブ映像の終了

ライブ開始と同じくライブ映像を停止したいデバイスの名称を右クリックし

**映像を表示 (パネルに割当)** → **全てのチャンネルの映像の消去 (パネルの割り当てを解除)** を選択。



または **表示オフ** (パネルの割り当てを解除) アイコンをクリックします。このアイコンを押すと表示中の全てのチャンネルを閉じる事が出来ます。

## 特定のチャンネルのみ非表示

非表示にしたい場合はチャンネルの右上の **×** をクリック。

チャンネルに接続されているマイクを ON するにはチャンネルの右下に表示される **🔊** スピーカーアイコンをクリックします。PC のスピーカーから音声が届きますので、PC のオーディオ設定を行って下さい。



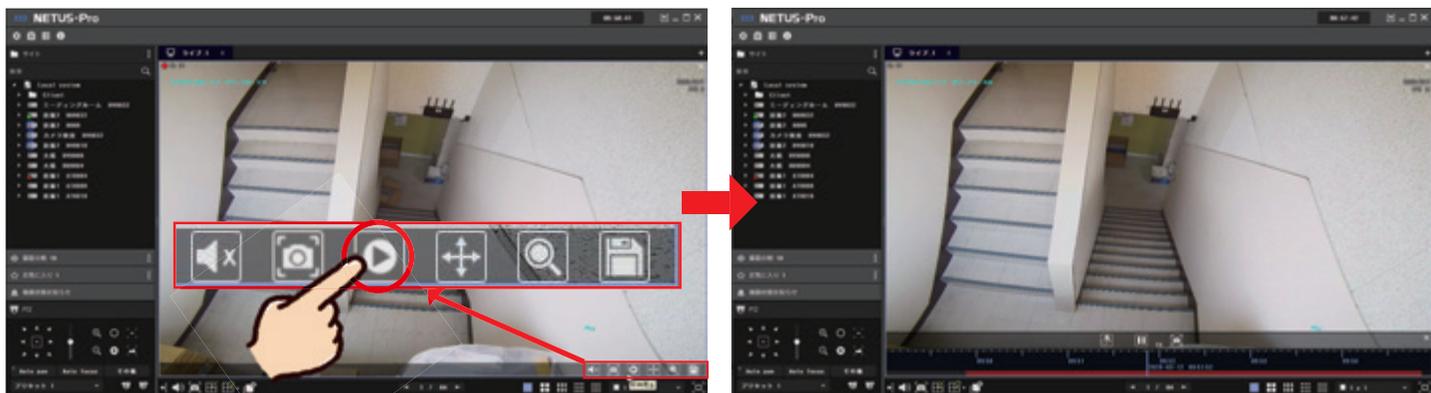
NETUS-Pro では異なるデバイスの映像を **1 画面に最大 64** チャンネルまで同時に映し出す事が出来ます。但し PC スペック (特にビデオカードのスペック)、ネット環境、回線速度や品質に大きく依存します。

## 手順5 再生

NETUS-Pro 起動直後はライブパネル (ライブモード) が開きます。再生には 1 チャンネルのみを最も新しい日付の近々 5 分~ 10 分前から再生する **即時再生** と、日付と時間帯を検索して再生する **通常再生** の 2 つがあります。

### 即時再生

- 1 ライブパネルにライブ映像を映し出し、目的のチャンネルをダブルクリックし 1 画面表示にし、画面右下のアイコンから **▶** 即時再生アイコンをクリックします。  
即時再生モードに切り替わり再生が開始されます。  
接続と検索を同時に行う為、多少時間がかかります。また被写体及び録画条件によって即時再生の開始される時間はチャンネルによって前後します。



- 2 即時再生を終了しライブ映像に戻るには、即時再生の画面上にマウスポインターを合わせ左クリックし即時再生モード終了をクリックします。

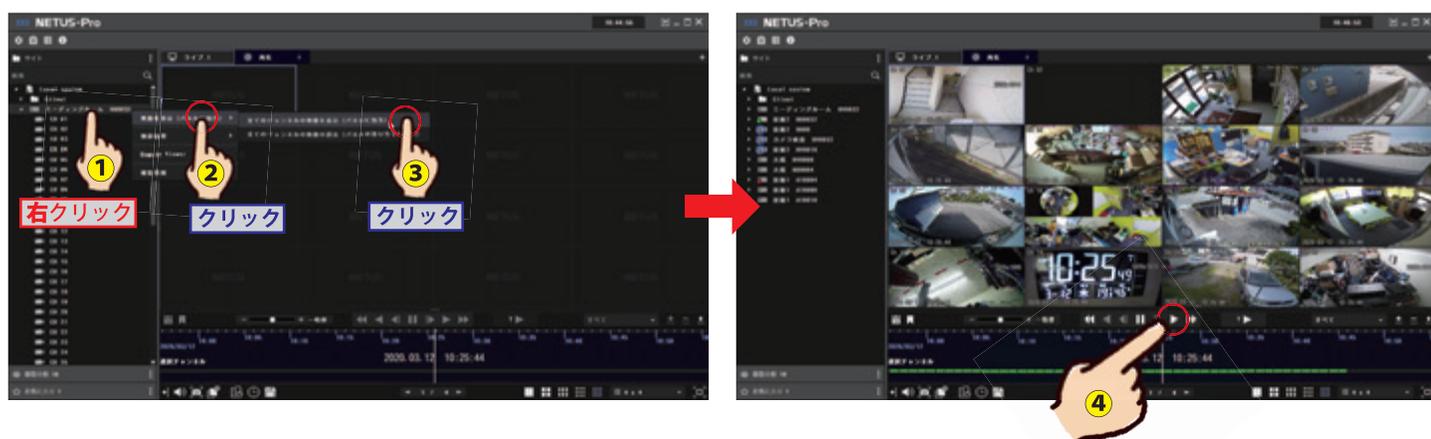


## 通常再生

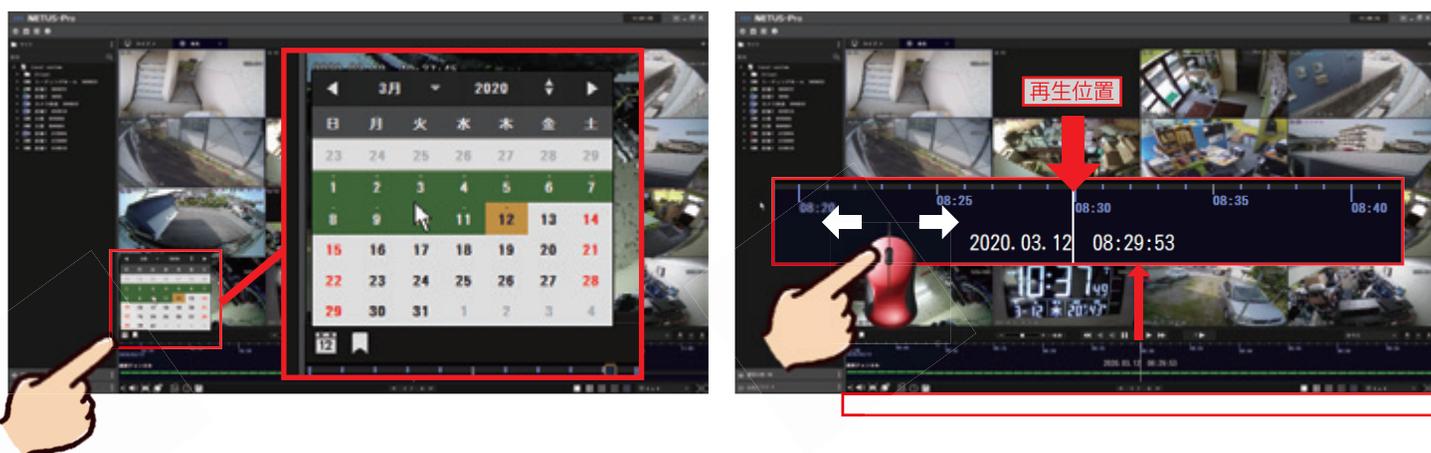
- 1 ライブパネルにライブ映像を映し出したままの状態でも再生は可能ですが、バックグラウンドで常に大容量のデータを受信し続ける状態が続く為、PCスペックはもちろん通信回線速度も低下しそれに伴い再生機能も低下します。可能な限り**ライブ映像は停止**した状態で再生を行って下さい。
- 2 タブ追加ボタンをクリックし表示されるメニューから再生（上から2番目）をクリックします。



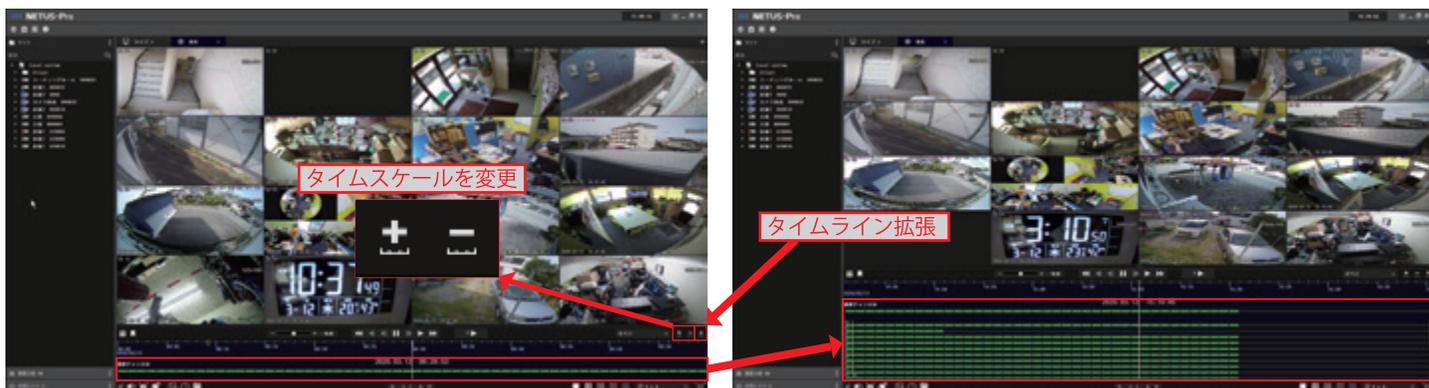
- 3 再生したいデバイスの名称を**右クリック**し **映像を表示 (パネルに割当)** → **全てのチャンネルの映像を表示 (パネルに割当)** を選択します。デバイスに接続し約 20 分前の映像が映し出されますので **再生** をクリックします。  
この「20 分前」は再生パネルを開いた段階での時間となります。



- 4 **日付を指定**して再生したい場合、**12** カレンダーアイコンをクリックし日付を選択します。  
**時間帯を指定**したい場合、タイムバー上でマウスの左クリックボタンを押したままの状態に左右に移動 (ドラック) します。



- 5 タイムバーの表示スケールはデフォルトで1時間です。変更する場合はタイムバー右上の  アイコンを押します。  
またタイムラインはデフォルトでは録画状態のトータルが表示されています。チャンネル毎のタイムラインを表示する場合は  タイムライン拡張のアイコンをクリックします。

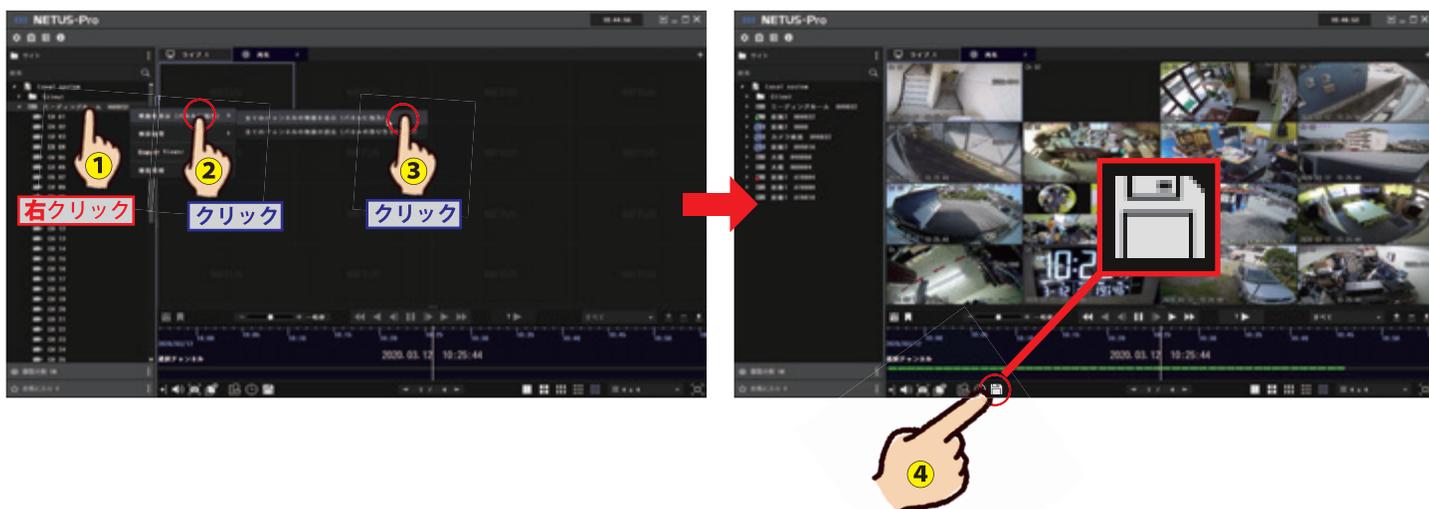


- 6 事前に再生したい日付と時間帯がわかっている場合、**直接検索**する事が出来ます。デバイスを選択するまでは通常再生と同じです。その後  日時指定検索アイコンを押し日付と時間を入力し **検索**を押します。



## 手順6 バックアップ

- 1 **手順5再生**の**通常再生** (p25) の ①② でライブパネルから再生パネルを開き ③ に沿ってバックアップを行いたいデバイスを再生パネルに表示させ画面下中央の  バックアップアイコンをクリックします。



2 バックアップを行うチャンネル（カメラ）にチェックを入れ、以下の必要条件を設定し最後に開始アイコンをクリックします。

■ **機器名**：選択されているデバイスの登録名称が表示されます。ここに表示される名称がバックアップフォルダに表示されます。ユーザーが変更する事も可能です。

■ **ファイル名**：予定機能の為、反映されません。空欄のまま次へ進んで下さい。

■ **パス**：バックアップファイルを収納する PC の場所を設定します。デフォルトではビデオフォルダが設定されています。ユーザーが変更する事も可能です。

■ **ファイル形式**：バックアップファイルの保存形式を RMS または AVI から選択します。デフォルトでは RMS が選択されています。

【RMS】機器専用の動画ファイル形式です。録画された日時表示と一緒に複数のチャンネルの映像を同時に見ることが出来ます。録画映像の再生には Windows 用の専用ソフトウェア「BackupPlayer」が必要です。「BackupPlayer」はバックアップ時に同時にインストールされます。Windows 以外の OS での再生はサポートされていません。

**注意**：BackupPlayer や製品付属の CD-ROM 内にも収録されています。

【AVI】一般に広く普及した汎用の動画ファイル形式です。録画された日時を表示する事や複数のチャンネルの映像を同時に見ることが出来ません。録画映像の再生には汎用の H.264・H.265 コーデックの AVI ファイルを再生可能な動画再生ソフトが利用出来ます。

**注意**：BackupPlayer は AVI 形式のファイルを再生することは出来ません。

Windows 以外の OS であっても、H.264・H.265 コーデックの AVI ファイルを再生可能な動画再生ソフトがあれば再生出来る場合があります。

■ **開始日時と終了日時**：バックアップを開始する日時と終了する日時を設定します。

**注意**：ファイルサイズや PC 及びネットワーク環境から、長時間のバックアップや日をまたいでバックアップはエラーが出る可能性が高くなります。

■ **予測サイズ**：バックアップされるファイルの大きさを予測します。多チャンネルの動画を長時間バックアップすると、非常に大きなデータになる事から、バックアップを実行する前に PC の記憶装置の空き容量より十分に小さい事を必ず確認してください。データサイズは、バックアップの条件を全て入力し終えてから  データサイズ確認アイコンをクリックします。

■ **パスワード**：RMS 形式でのバックアップファイルにパスワードを付ける事が出来ます。チェックボックスにチェックを入れ、お好みのパスワードを入力して下さい。

**注意**：AVI 形式のバックアップファイルにはパスワードを付ける事は出来ません。

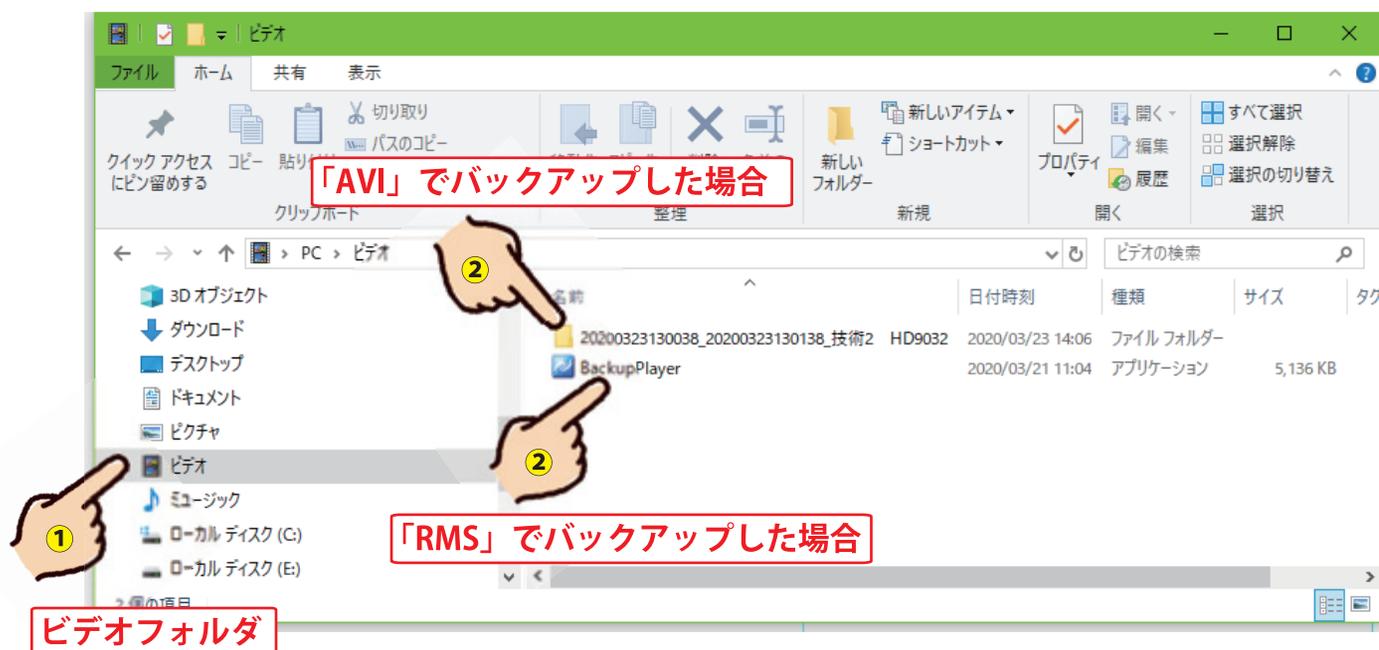


- ③ 選択されているカメラのダウンロードが開始されます。ダウンロードには選択されているカメラの台数、バックアップ期間（時間）、ネットワーク環境、回線速度や環境、PC スペックなどの条件から、数分から数時間の時間を有します。ダウンロードが完了しますと完了のメッセージが表示されますので**確認**をクリックします。



## 手順7 バックアップファイルの再生

- ① 通常、NETUS-Pro でバックアップされたバックアップデータは**お使いの PC のビデオフォルダ**に保存されます。



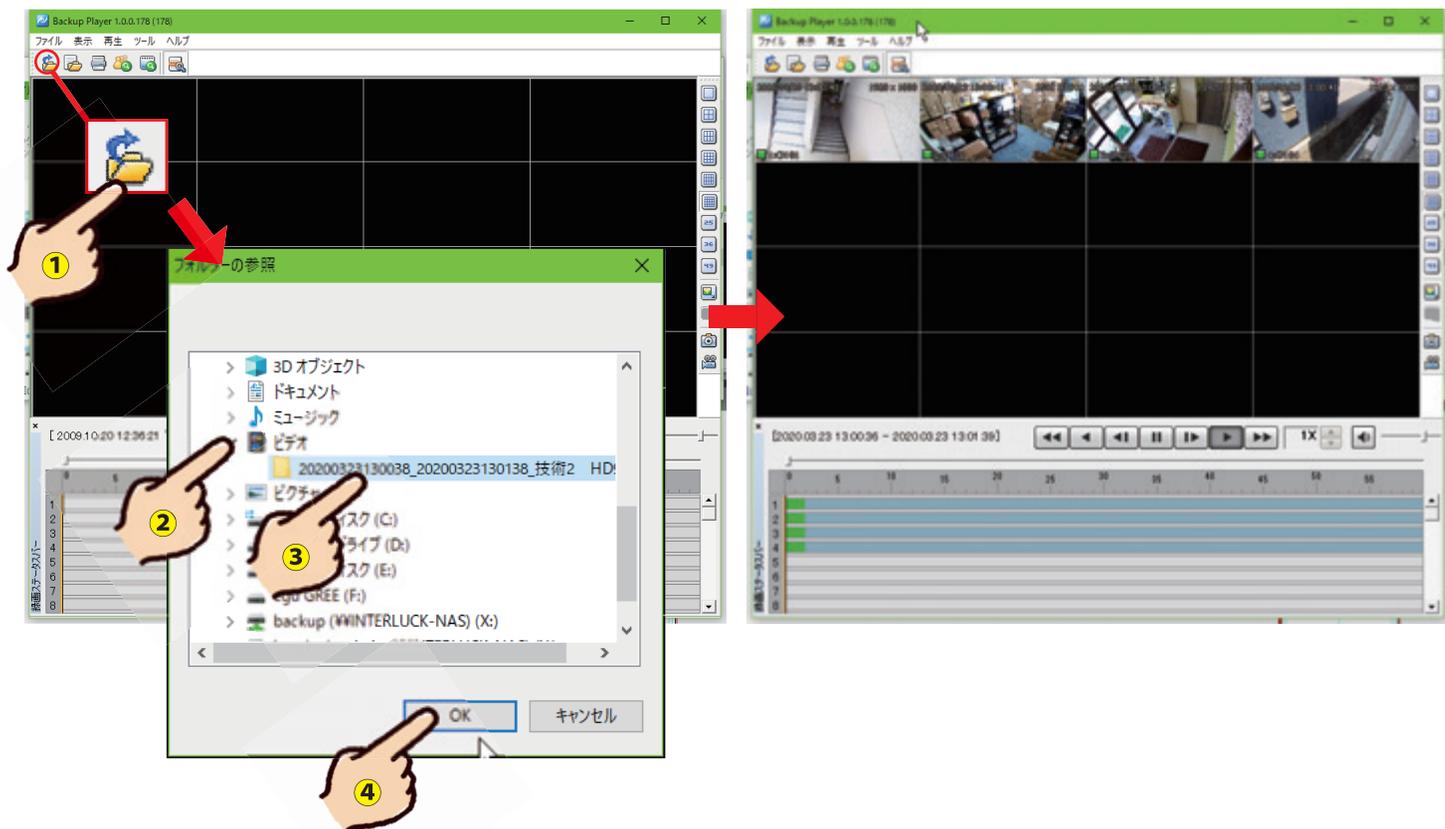
- ② バックアップ条件の日付と時間と機器名でデータフォルダが作られます。ファイル形式が RMS 及び AVI に問わず、専用のバックアッププレイヤー (BackupPlayer) がバックアップと同時にインストールされます。

- ファイル形式が RMS で保存されたバックアップデータの場合、この BackupPlayer を利用できますが、AVI 形式でバックアップされた場合は利用する事は出来ません。
- レコーダーのファームウェア (F/W) が旧バージョンの場合、BackupPlayer が同時にインストールされない場合があります。BackupPlayer は製品付属の CD-ROM 内にも収録されています。同時インストールされない場合はそちらをご利用下さい。

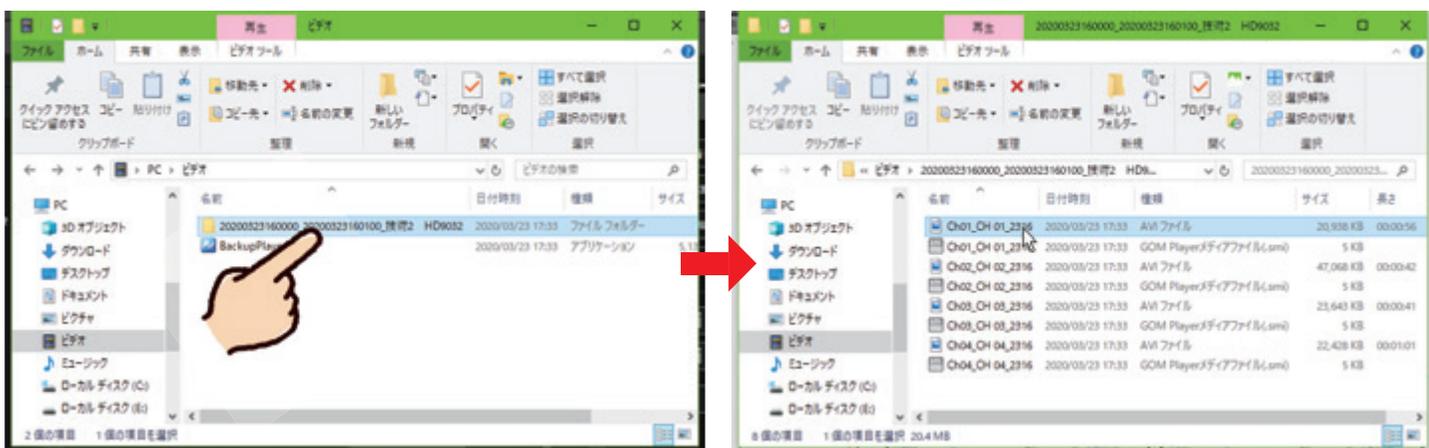
ファイル形式 **RMS** でバックアップされたデータの場合、この BackupPlayer を**ダブルクリックし BackupPlayer を起動**します。

ファイル形式 **AVI** でバックアップされたデータの場合、BackupPlayer では無くバックアップデータが保存されている**フォルダ**をダブルクリックし、フォルダの中に入ります。

- ③ ファイル形式 **RMS** でバックアップされたデータの場合、BackupPlayer の  フォルダを開くアイコンをクリックし、フォルダー参照からビデオフォルダ内の再生を開始する目的のフォルダを選択。最後に**OK**をクリックします。



ファイル形式 **AVI** でバックアップされたデータの場合、**データが保存されているフォルダ**内の AVI ファイルをクリックすると、PC でデフォルト設定されているプレイヤーソフトが起動し再生が開始されます。



- PC にインストールされているプレイヤーソフトで AVI ファイルが再生できない場合、またはレコーダーの画像圧縮が H.265 に設定されている場合は製品に付属の CD-ROM 内に入っている、または弊社ホームページからダウンロードできる VLC Player をご利用下さい。(VLC Player は 64bit PC 専用です)
- AVI ファイルと同じフォルダに保存された「**SMI**」と書かれたファイルは、バックアップ映像に日時を表示する為のものです。このファイルを削除すると日時が表示されなくなります。



メ 毛



メ 毛

## 実際にこの製品をご利用頂くお客様へ

- ① 本書、本機添付取扱説明書などにお問合せ先となる販売店（お求め頂いた業者）の詳細（名称、住所、連絡先など）の記録があるかをご確認下さい。詳細が無い場合、大変ご面倒ですが販売店（お求め頂いた業者）へご依頼下さい。
- ② 本機を修理依頼される場合、本機（HDDを含む）と**使用されている電源アダプタ及びマウスを必ず一緒にお出し下さい**。電源アダプタやマウスに故障や不具合の原因がある場合がございます。また**具体的な故障や不具合の症状をお知らせ下さい**。写真や動画、バックアップデータ及びハードディスクに記録されている日時などをご提供頂ければ幸いです。



業務用防犯監視カメラシステム機器国内輸入卸

# 有限会社インターラック

カタログやパンフレットなどに含まれる写真やイラスト、文章等の全ての権利は有限会社インターラック及び製作者が保有しており、これらの著作物を無断で使用することは法律により罰せられます

- 本社 〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田3249-1  
TEL:0985-55-0752 FAX:0985-55-0815
  - 東京出張所 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町8番13号  
TEL:03-3249-0117 天翔日本橋ビル4階 408-F号
  - 札幌出張所 〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西13丁目4番40  
プラザビル3F SAKURA-W13  
TEL:011-206-9218 FAX:011-206-9219
- ホームページ：<http://www.interluck.co.jp>  
代表 e-mail：[info@interluck.co.jp](mailto:info@interluck.co.jp)

この製品のお求めは下の販売店へお問い合わせ下さい



Interluck.Co.,Ltd

© 1999-2024 Interluck Co.,Ltd All Rights Reserved.